



# いよいよ10月！世界が九州にやってくる！ / マイナビ ツール・ド・九州2023



いよいよ本年10月に、「マイナビ ツール・ド・九州2023」が開催されます。本大会は、ラグビーワールドカップ(RWC)2019の成功を受け、九州におけるスポーツレガシーの継承やサイクルツーリズムの推進、自然災害からの復興等々、様々な想いを背景にして立ち上がった、官民一体でつくる「自創型地域活性化イベント」です。開催地のみならず九州全体で盛り上げていきましょう。

※本記事は、(一社)ツール・ド・九州事務局提供の資料や写真をもとに作成しています。

## 「ツール・ド・九州」とは

「ツール・ド・九州」は、国際自転車競技連合(UCI)公認のサイクルロードレースで、九州商工会議所連合会(会長=谷川会頭)をはじめ九州の経済団体トップと各県知事で構成される九州地域戦略会議において開催が決定されました。大自然の中、公道を使用して九州各県を巡る本大会は、自転車ステージレースとしては日本屈指の規模となります。

第1回大会となる今回は、10月6日(金)から9日(月・祝)の4日間にわたり、福岡・北九州をスタートし、熊本の阿蘇エリア、大分の日田エリアの全走行距離約400km超となるロードレースが展開されます。



▲九州の経済団体トップと各県知事による記者発表の様子

### —開催に至る経緯(抜粋)—

- ・2019年 11月 九州地域戦略会議で議論開始
- ・2020年10月 大会検討委員会で、国際サイクルレース+サイクリング周遊イベントの併催を決定
- ・2021年 4月 「ツール・ド・九州2023 実行委員会」を設立
- ・2022年10月 国際自転車競技連合(UCI)公認レースに認定
- ・2022年12月 大会名称を「マイナビ ツール・ド・九州2023」へ



## 「マイナビ ツール・ド・九州2023」が目指すこと

### 【大会基本方針】 **Make Kyushu Sustainable** ~九州の持続可能な未来のために~

本大会を通じて九州の未来を創る様々な取組みやメッセージを発信します。

#### 地域貢献・復興

- 交流人口の拡大
- 九州の魅力発信  
⇒観光復興・災害復興
- 食材や地域産品の地産地消
- 雇用の促進
- 地域間連携の推進
- 子どもたちへの教育、SDGs、国際交流、スポーツ普及・・・



#### 環境

- カーボンニュートラルの実現  
クリーンエネルギーの最大活用  
大会公式車両の脱炭素化
- 地域水資源の活用・保護
- プラスチックごみの抑制



#### 健康

- サイクルスポーツの普及
- 自転車活用推進計画の啓蒙



#### 先端技術の実証

- DXによる事業推進  
5Gテクノロジーの活用  
VRテクノロジーの活用
- 企業団体のイノベーション実証



#### 具体的な取組例

- ▶ 大会車両の一部に水素自動車を使用し、持続性のある水素供給オペレーションを実践
- ▶ 阿蘇の水資源を活かした「天然水 阿蘇の水」(サントリー)を大会公式飲料として認定
- ▶ 若者に大会を通じた九州の未来を考えてもらう産官連携「マイナビ locusプログラム」を実践



## 選手たちの熱い走りと美しい九州の風景に注目です！

海外から招いたチームを含む約18チームが出場を予定しています。  
観戦時は、走る選手だけでなく、九州の壮大な景色も楽しむことができます。



### 「マイナビ ツール・ド・九州2023」開催概要

- 期 間：2023年10月6日(金)～10月9日(月)
- 開 催 地：福岡県、熊本県、大分県
- 参加チーム：国内外計18チーム前後
- 主 催：ツール・ド・九州2023実行委員会(会長：倉富純男/九州経済連合会会長)
- 後 援：自転車活用推進議員連盟、国土交通省自転車活用推進本部、総務省、経済産業省、観光庁、スポーツ庁、九州地方環境事務所

最新情報は  
大会HPをチェック！



**1 STAGE**  
福岡  
2023年10月7日(土) 8:00-  
北九州一大牟田 約145km



**2 STAGE**  
熊本阿蘇  
2023年10月8日(日) 9:00-  
南小国-南阿蘇 約106km



**3 STAGE**  
大分  
2023年10月9日(月) 11:30-  
日田-日田 約135km



#### 小倉城クリテリウム

2023年10月6日(金) 13:30-  
小倉 約45km

## 個人競技でありながらチーム戦!? サイクルロードレースのみどころ

サイクルロードレースは、100人を超える選手たちが一斉にスタートして、誰がいち早くゴールにたどり着くかを競うシンプルな個人競技です。ただ、実際には各チームが自チームの中で一番力のある選手が勝利することを目的としたチーム戦になっていますので、“個人競技でありながらチーム戦”と言えるでしょう。

サイクルロードレースにおいては「空気抵抗」が大きな負担となって選手を苦しめます。そのため、エース以外の選手たちが隊列を組んで空気抵抗を減らしながら、チームが勝たせたいエースの力を温存させることがポイントになります。そして力を温存してきたエースがゴール前でいつ勝負を仕掛けるか、他チームとの駆け引きもレースの見どころです。

「自分のチームから優勝者を出す」ためのチーム間のバトルは迫力満点です。

**沿道で選手たちへの熱い応援をお願いします！**



▲写真提供: OITAサイクルフェス実行委員会

#### お知らせ

大会期間中のボランティア(沿道警備)を募集しています。  
詳細は以下お問い合わせ先までご連絡ください。

#### お願い

大会開催に伴い交通規制が発生します。ご迷惑をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。(交通規制情報は、大会HP、チラシ、テレビCMでお知らせ予定)